



01 プロジェクトの概要

「東部地域でつながり、やってみようプロジェクト」は、2022年3月に策定された「東部振興構想」に掲げられた東部地域の将来像“人がつながり、支え合い、チャレンジし続けるまち”～豊かな自然、快適な住環境と多様な産業が共存するまちづくり～の実現をめざし、アクションプランに位置付けられた取組です。

このプロジェクトは、2022年度から実施されています。昨年度（2023年度）は3回にわたるワークショップ、LINE等を活用した意見交換等を経て、合計7つのトライアル活動が実施されました。

今年度（2024年度）は、これまでの活動を一部継続しつつ、新たな参加者を加えたワークショップ（全3回）、セミナーや交流会を行い、トライアル活動につなげることを目指しています。

この通信は、プロジェクトの進捗状況をお伝えするとともに、より多くの仲間・応援団を集めるために作成・配布するものです。

02 2024年度 第1回ワークショップ

2024年度は、4/28、5/12、5/26の3回ワークショップを開催します。

第1回ワークショップは、以下のとおり開催されました。

日時：令和6年4月28日（日）10:00～12:30

会場：東部市民センター 講堂

参加者数：12名

開催にあたり、小牧市東部まちづくり推進室、林室長からあいさつがあり、‘今年は3年目となる。失敗ができる活動。まずはやってみよう！’

というプロジェクトの趣旨に基づく、楽しく活発な議論と取組へのお願いがありました。



05 グループワーク・参加者間交流（3ラウンド実施）

個人ワークシートの後、途中でメンバーを入れ替える‘ワールドカフェ形式’でそれぞれのワークシートの内容を発表し合い、みんなのアイデアを元に参加者間で交流しました。

ワールドカフェは合計3回行い、1・2ラウンドは多世代で交流できるように事務局があらかじめグループを設定し、意見交換をおこないました。

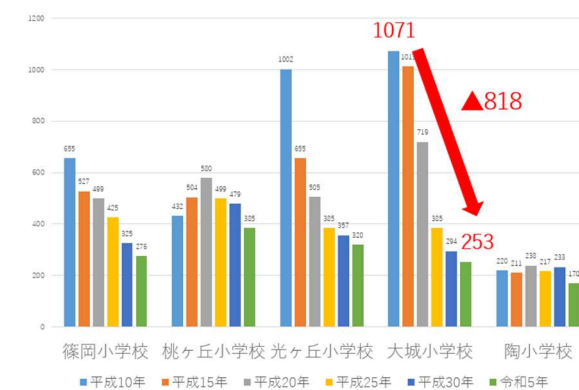
1・2周目の意見交換では、「外国にルーツを持つ人との交流機会が少ないため、歩いて行ける身近な場所で多世代・多文化交流イベントを開催できないか」、「空き家を活用し、かくれんぼやeスポーツなど若い人に魅力的な場をつくれないうか」など活発なアイデアが飛び交いました。



03 ガイダンス

ガイダンスでは、事務局からプロジェクトの趣旨・目的の説明がありました。また、第1回は「こども」、「わかもの」、「多文化」、「多世代」というテーマから、興味・関心のあるものを選び、取組アイデアを出し合う方法で進めていくということも伝えられました。

東部地域の現状（小学校児童数）



Day1 4/28(日)

【テーマ】

①こどもとわかもの

②多文化や多世代



また、東部地域を取り巻く現状と課題について、地図や人口データ等を用いた説明がありました。

東部地域の学校は25年前と比べて児童・生徒の数が減っていることや、外国人人口数は毎年増加しており、地域に占める割合も大きくなっていることなど、テーマに沿ったデータが紹介されました。

04 自己紹介⇒「東部地域で私がやってみたいアイデア」をシェア

ガイダンスの後は、参加者全員がくるま座になって自己紹介を行い、名前や所属、活動等を共有し、顔見知りになりました。

続いて、参加者一人ひとりが「東部地域で私がやってみたいアイデア」をワークシートに書き込みました。

アイデアを考えるにあたり、「私が関心を持っていること」や「東部地域で課題に感じていること」などを書き出しながら、各々のアイデアを整理しました。

参加者からは、「多世代でお料理し交流したい」、「まち歩きをしながら東部地域の魅力を伝えたい」など様々なアイデアが出ました。



3ラウンドは、2回の意見交換の中で「この人と話してみたい」、「こんなテーマで話したい」と思った人同士でグループをつくり交流を深めました。

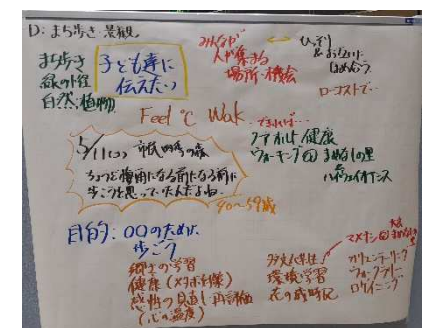
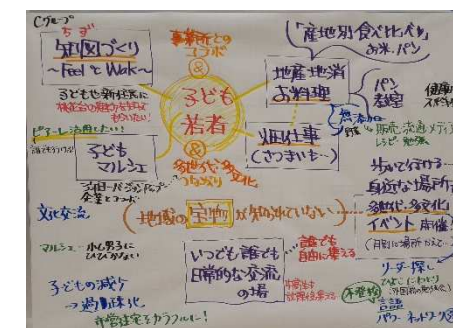
下記の3つの切り口がテーマとなり、4～5人に分かれてワイワイ楽しくアイデアを掛け合わせながら、議論が進みました。

【3つの切り口】

グループ1：空き家×多世代・多文化

グループ2：食×こども・わかもの

グループ3：まちあるき×こども・わかもの



第2回ワークショップは、「くらし」、「しごと」、「プロモーション」、「観光」というテーマに関心がある参加者を対象に、第1回と同様に取組アイデアを出し交流します。第3回は、第1・2回のメンバーが合流し、具体的なアクションにつなげるため、取組アイデアを膨らませるプログラムを予定しています。